

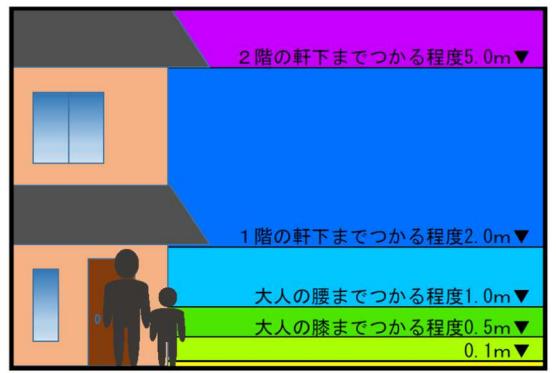
ため池名称：上地溜池
総貯水量：3,000t



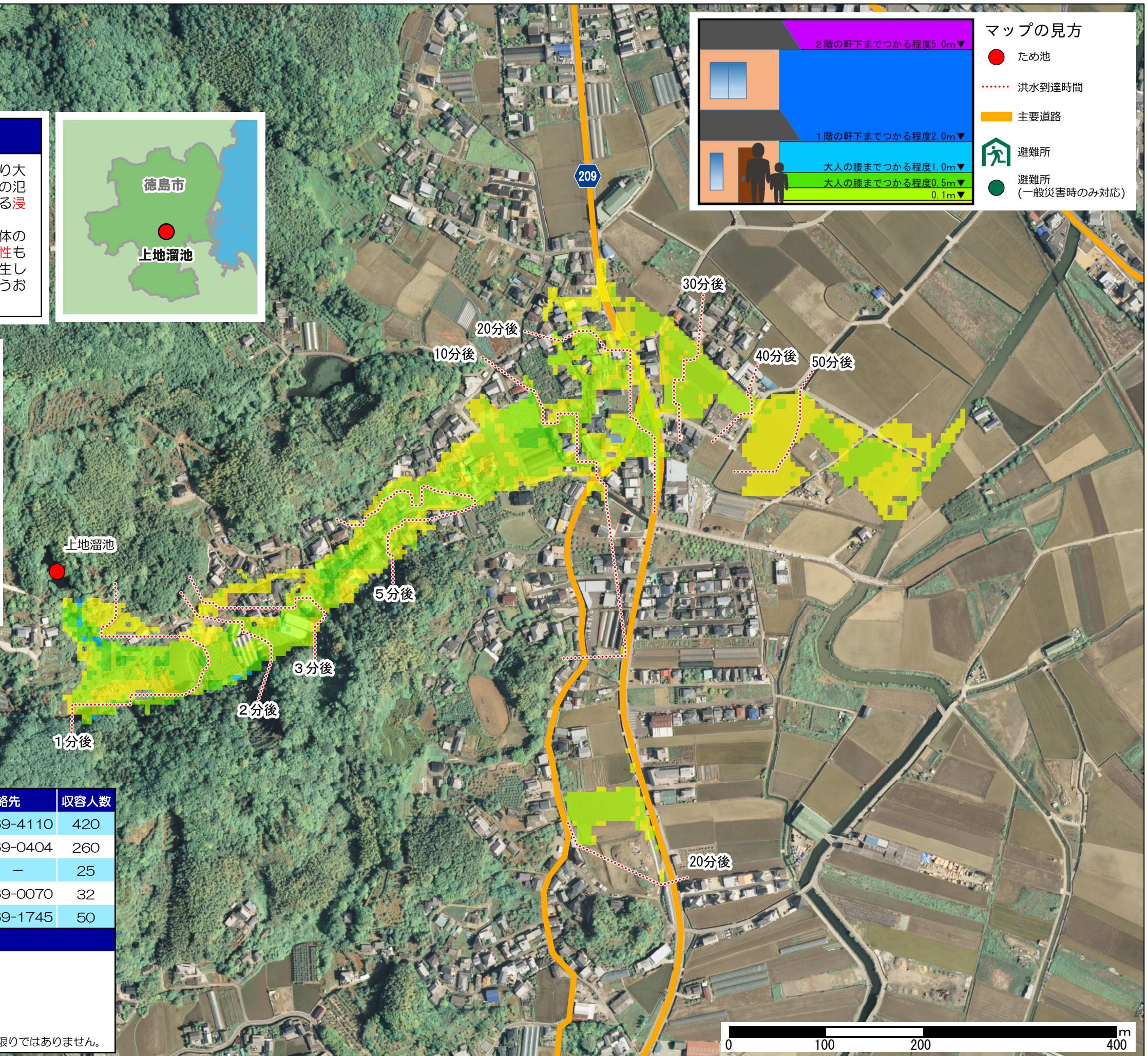
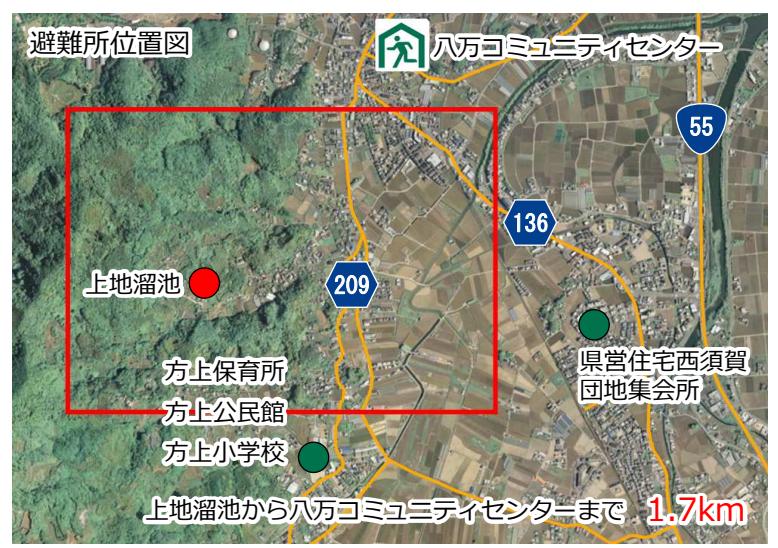
徳島市ため池ハザードマップについて

このため池ハザードマップは、ため池が南海地震などにより大きな被害を受け、ため池の堤防が決壊した場合を想定し、その氾濫水が決壊60分後に到達する区域の最大範囲と、予想される浸水の深さを表示したものです。

実際の氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害程度、周辺の土地利用状況等により、これと異なる可能性もあります。平常時から十分な備えをしていただき、地震が発生したら、あわてず、周囲の状況を確認し、適切な行動をとるようお願いします。



- マップの見方**
- ため池
- 洪水到達時間
- 主要道路
- 避難所
- 避難所 (一般災害時のみ対応)



緊急時連絡先 (関係機関)	電話番号
火事、救急	119番
警察	110番
徳島市役所（代表）	621-5111
// (耕地課)	621-5258

一般災害時及び地震災害時の避難所	住所	連絡先	収容人数
八万コミュニティセンター	八万町法花187番地の1	669-4110	420
方上小学校	北山町下地1番地の3	669-0404	260
県営住宅西須賀団地集会所	西須賀町東開52番地の2	-	25
方上保育所	北山町神脇46番地の1	669-0070	32
方上公民館	北山町下地1番地	669-1745	50

一般災害時の避難所開設順位

台風・土砂災害等の災害時には、以下の順番で避難所を開設します。

- (1) コミュニティセンター
- (2) 市立の小中高等学校
- (3) その他の市有施設
- (4) その他の公共施設（県有施設・国有施設等）
- (5) 民間施設

なお、大地震や特別警報が発表される等、甚大な被害が予測される場合にはこの限りではありません。



徳島市ため池ハザードマップ

上地溜池

この地図は農業用ため池の上地溜池が南海地震などにより大きな被害を受け、堤防が決壊してため池から一度に水が流出した場合を想定して作成したものです。

実際に氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害程度、周辺の土地利用状況や、他の災害の同時発生により、これと異なる可能性がありますが、地震が発生したら「まずは安全な場所に逃げること」がなにより大切です。

地域のみなさんでこの地図をご活用いただき、地震時の安全確保に努めて下さい。

インターネットによる最新情報の入手先

徳島市公式ウェブサイト（消防・防災）

- 防災・災害情報
- ハザードマップ
- パソコンスマートフォン携帯電話

http://www.city.tokushima.tokushima.jp/anzen/shoubo_bousai/

徳島県防災・危機管理情報「安心とくしま」

- 緊急災害情報
- 被害情報
- パソコンスマートフォン携帯電話

<http://anshin.pref.tokushima.jp/>

気象庁（徳島地方気象台）

- 天気予報
- 気象警報
- ・注意報
- 降水ナウキャストなど
- パソコンスマートフォン

<http://www.jma-net.go.jp/tokushima/>

正確な情報を入手しよう

避難情報や気象情報の伝達経路

避難情報の種類

避難準備情報

みんなのるべき行動

- 避難に向けた準備を開始してください。
- 高齢者や障がい者など、避難に時間がかかる方は、避難を開始してください。

避難勧告

- 身の安全を確保し、家族や近所で助け合いながら、あわてず、すみやかに避難してください。

避難指示

- すぐに避難してください。
- 既に危険が差し迫って避難が困難な場合は、自宅の2階や近くの高い建物へ避難してください。

【伝達手段】

- | | |
|------------------------|--|
| 徳島市災害対策本部 | ●広報車
●防災無線
●徳島市公式ウェブサイト
●緊急速報メール（エリアメール）
●徳島市防災ラジオ |
| 避難準備情報
避難勧告
避難指示 | ●テレビ
●ラジオ
●インターネット |
| 気象情報
地震情報 | |

安全に避難出来る目安

水深[m]



解析時間内で各メッシュの歩行が最も困難となる時刻の歩行困難度を示します。
各メッシュの時刻は同一時刻ではありませんのでご注意ください。

- 歩行不可能
- 歩行困難
- 歩行可能

この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2,500地形図を複製したものである。（承認番号 令2徳島市指令都政第36号）

状況に応じた避難をしよう

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

- ・想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。
- ・裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

【浸水の深さ】

5m以上の浸水

必ず

- 3階以上が浸水

2~5m未満の浸水

必ず

- 2階の天井付近まで浸水

1~2m未満の浸水

時と安全な避難経路が確保されれば

- 1階の天井付近まで浸水

0.5~1m未満の浸水

少なくとも

- 床上浸水
- 大人の腰の高さ程度

0.1~0.5m未満の浸水

少なくとも

- 床下浸水
- 大人のひざ下程度

0.1m未満の浸水

必ず

- 影響が少ないと思われる

【判断】

5m以上の浸水

必ず

- 歩きやすい服装

【どこへ】

浸水しない場所

(避難所・道路・空き地・高台など)

- 歩くで避難

【どうやって】

歩きやすい服装

- 徒歩で避難

お年寄りなどの避難に協力を

- 事前に避難先を話し合

自宅の2階

危険のない近くの高い建物

- 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる

垂直避難

自宅にとどまる

むやみな移動はかえって危険

- 屋内待避

こんなときは避難しましょう

- ・南海地震や直下型地震が発生したら（2~3日後までは警戒が必要）
- ・集中豪雨、長雨のとき

